



齊藤シツさん
(長崎・90歳)

趣味は手先を動かすこと

★どんな仕事をしていましたか
夫と漁業を営んでいましたが、その傍らでたくさんの内職などでもしてきました。

★趣味は何ですか
手先を動かすことですね。古い洋服や着物を使って、手提げや小物入れを作っています。

★宝物は何ですか
ほかに家庭菜園もします。今年はトマトが良く実り、たくさん食卓に出すことができました。

★宝物は何ですか
家族や孫たちです。今年の敬老の日にも、孫たちが手作りのクッキーを贈ってくれたんですよ。たまに顔を見に来てくれるのがとても楽しみです。

★町について思うことは
昔に比べて、ゴミが落ちていくことが少なくなったと思います。皆さんの心掛けひとつで町もきれいになるでしょうね。

山田町長 沼崎 喜一

キッチンスタジオ No.7 スーパーモーニング

このコーナーでは、手軽にできるお弁当や郷土料理、旬の食材を使った料理などを毎月ご紹介します。

ホタテのさっぱ舟仕立て



作り方

【材料（4人分）】

塩コンブ…4枚(11号×15号角)、ホタテ貝柱…4個
かんぴょう…8本(長さ14号)、だし汁…適量
薄口しょうゆ…小さじ2/3、日本酒…小さじ2
本みりん…小さじ1

【作り方】

- ①塩コンブは2分くらい水に浸けて塩抜きする。
- ②ホタテの貝柱は輪切りにし、かんぴょうは塩少々と少量の水でもみ、水洗いして縦半分に分ける。
- ③コンブに②の貝柱を横に並べて巻き、両端をかんぴょうで結ぶ。
- ④③を鍋に入れ、だし汁をひたひたになるまで入れ、落とし蓋をして煮る。昆布が軟らかくなったら薄口しょうゆ、日本酒、本みりんを加え煮汁がほとんどなくなるまで煮る。
- ⑤盛り付けてから真ん中に切れ目を入れて開き、さっぱ舟に見立てて形を整えたら完成です。

町長室から

9月15日は敬老の日。本町では、9月20日に喜寿を祝う会を開催し、楽しいひとときを過ごしました。ちなみに、喜寿を迎えた方は224人でした。本年度、敬老の日までに100歳を迎えた町民の方は5人で、100歳以上の方は9人となります。これを自治体の人口に占める割合で見ると県内第8位となり、本町は長寿の町と言えるようです。▼100歳以上の方は全国で36276人、岩手県で387人。県の最高齢は109歳、本町は103歳です。長寿の秘けつを皆さんに聞いてみたら共通項が見えてくるのでしょうか▼進む高齢化に比例して介護保険のサービス受給者も増えています。平成12年度に発足した介護保険制度は現在第3期計画の最終年度で、来年度から始まる第4期事業計画の策定委員会が発足しました。介護保険料を抑えながらサービスを維持するという難題に挑戦です。